

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	葵会仙台看護専門学校
設置者名	学校法人医療創生大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	56 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	葵会仙台看護専門学校
設置者名	学校法人 医療創生大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	南八王子病院 名誉院長	2020年4月1日～2021年3月31日	企画
非常勤	特定非営利活動法人 萌木 理事長 元文部科学副大臣	2020年4月1日～2021年3月31日	教育行政等の観点からの学校法人運営
非常勤	千葉・柏リハビリテーション病院 院長	2020年4月1日～2021年3月31日	医療人材養成の観点からの学校法人運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	葵会仙台看護専門学校
設置者名	学校法人 医療創生大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書の作成】 授業計画書(シラバス)の作成は、授業評価に基づき担当者が案を作成し、教員会議での検討の上で、運営会議にて決定となる。</p> <p>【授業計画書の公表】 新入生に関しては、4月の入学ガイダンスにて配付し説明を行っている。在校生に関しては、3月末から4月初旬の進級オリエンテーションにて配付し説明を行っている。また、ガイダンス前にWeb上での公表を実施する。</p>																	
授業計画書の公表方法	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html																
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【学習評価】 当該科目の定められた授業時数の3分の2以上の出席を必要とする。並びに当該科目の以下の評価により、単位認定会議の議を経て、学校長が認定する。</p> <p>[本校の評価]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>得点区分</th> <th>評価区分</th> <th>合 否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は本校学則細則を参照。</p>			得点区分	評価区分	合 否	100点～80点	優	合格	79点～70点	良	合格	69点～60点	可	合格	59点～0点	不可	不合格
得点区分	評価区分	合 否															
100点～80点	優	合格															
79点～70点	良	合格															
69点～60点	可	合格															
59点～0点	不可	不合格															

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、成績評価データとして以下の方法を用い、全学生の成績分布状況の把握を行っている。</p> <p>[成績評価のデータ計算方法] 学生ごとの定期試験各科目の素点を合計した上で、受験すべき科目数で除し、平均点を割り出す。その平均点により、学年における順位付けを実施している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定】 以下の教育理念や教育目標に基づき、全課程を修了した学生に対して、単位認定会議の議を経て学校長が認めることとしている。</p> <p>【本校の教育理念】 葵会グループが目指す「“治す”と“防ぐ”を高いレベルで両立し、健康な人生をトータルにケアしていく医療をめざす」の理念のもとに、人間の尊厳と権利を守り、あらゆる健康レベルにある人々に対して、進撃な態度で看護を提供できる人材を育成する。</p> <p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳と人権・人格を尊重する倫理観を有し、思いやりのある自立した人間性を養う。 2. 人間を取り巻く環境の変化に対応しながら、看護の対象を身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面をもつ統合された存在として理解する力を養う。 3. 健康の維持増進、疾病の予防、疾病の回復及び終末期における対象のニーズを正しく捉え、看護問題を適切に解決できる基本的な能力を養う。 4. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームにおいて協働・連携できる能力を養う。 5. 専門職業人として生涯にわたり看護を探求し、地域社会に貢献し、成長し続けられる能力を養う。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	葵会仙台看護専門学校
設置者名	学校法人 医療創生大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html
財産目録	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html
事業報告書	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html
監事による監査報告（書）	https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,000時間（97単位） 単位時間／単位	1,965 単位時間 74/単位	単位時間 /単位	1035 単位時間 23/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		3,000 単位時間／97 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人		318人	0人	24人	48人	72人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>【授業計画書の作成】 授業計画書（シラバス）の作成は、授業評価に基づき担当者が案を作成し、教員会議での検討の上で、運営会議にて決定となる。</p> <p>【授業計画書の公表】 新入生に関しては、4月の入学ガイダンスにて配布し説明を行っている。在校生に関しては、3月末から4月初旬の進級オリエンテーションにて配付し説明を行っている。 また、ガイダンス前に Web 上での公表を実施する。</p>

<p>成績評価の基準・方法</p>															
<p>(概要)</p> <p>【学習評価】 当該科目の定められた授業時数の3分の2以上の出席を必要とする。並びに当該科目の以下の評価により、単位認定会議の議を経て、学校長が認定する。</p> <p style="text-align: center;">〔本校の評価〕</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">得点区分</th> <th style="text-align: center;">評価区分</th> <th style="text-align: center;">合 否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100点～80点</td> <td style="text-align: center;">優</td> <td style="text-align: center;">合格</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">79点～70点</td> <td style="text-align: center;">良</td> <td style="text-align: center;">合格</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">69点～60点</td> <td style="text-align: center;">可</td> <td style="text-align: center;">合格</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">59点～0点</td> <td style="text-align: center;">不可</td> <td style="text-align: center;">不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※詳細は本校学則細則を参照。</p>	得点区分	評価区分	合 否	100点～80点	優	合格	79点～70点	良	合格	69点～60点	可	合格	59点～0点	不可	不合格
得点区分	評価区分	合 否													
100点～80点	優	合格													
79点～70点	良	合格													
69点～60点	可	合格													
59点～0点	不可	不合格													
<p>卒業・進級の認定基準</p>															
<p>(概要)</p> <p>【卒業の認定】 以下の教育理念や教育目標に基づき、全課程を修了した学生に対して、単位認定会議の議を経て学校長が認めることとしている。</p> <p>【本校の教育理念】 葵会グループが目指す「“治す”と“防ぐ”を高いレベルで両立し、健康な人生をトータルにケアしていく医療をめざす」の理念のもとに、人間の尊厳と権利を守り、あらゆる健康レベルにある人々に対して、進撃な態度で看護を提供できる人材を育成する。</p> <p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳と人権・人格を尊重する倫理観を有し、思いやりのある自立した人間性を養う。 2. 人間を取り巻く環境の変化に対応しながら、看護の対象を身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面をもつ統合された存在として理解する力を養う。 3. 健康の維持増進、疾病の予防、疾病の回復及び終末期における対象のニーズを正しく捉え、看護問題を適切に解決できる基本的な能力を養う。 4. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームにおいて協働・連携できる能力を養う。 5. 専門職業人として生涯にわたり看護を探究し、地域社会に貢献し、成長し続けられる能力を養う。 															

学修支援等 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 面談等による学習指導を実施している。 ・ 入学前後から教員・職員による補習授業(カリキュラム上の授業を受ける際に前提となる中学・高校レベルの基礎知識の学び直し)を実施している。 ・ 自習室を設置し、学修に集中できる環境作りに取り組んでいる。 ・ 各演習室を授業時間以外でも学生に開放し、自主的な練習を可能にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
80人 (100%)	2人 (2.5%)	78人 (97.5%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、医療 (看護師)			
(就職指導内容) 履歴書等添削、面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家資格、専門士称号			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
318人	1人	0.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員による三者面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	300,000 円	700,000 円	400,000 円	実験実習費 (200,000 円) 施設費 (200,000 円)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
葵会修学支援制度 (医療法人社団葵会より全額 360 万の貸付)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 全教職員による自己点検・自己評価をもとに、学校関係者評価委員会で検討し、改善を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
葵会仙台病院	2020年4月1日から 2021年3月31日	病院長
葵会仙台看護専門学校	2020年4月1日から 2021年3月31日	顧問
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.isu.ac.jp/facility/senmonn.html

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。